

2023年8月31日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J A兵庫みらいでは、組合員や地域住民の良き相談相手として、地域の「農業」と「暮らし」を応援していくことが基本的使命であると考えています。

J Aのもつ事業機能や相談機能をより一層高め、みらいの農業、みらいの暮らしをサポートします。

当 J A では、この考えのもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

J A兵庫みらい

# I.取組状況

## 1 お客さまへの最適な商品提供【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- JAバンクのセレクトファンドは国内約6000本の中から、JAバンク独自基準（良心的な手数料水準、過去の運用成績や将来性等）で長期投資に適した投資信託を厳選してご提供しています。なお、当JAは、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では、商品新規導入を行う際に、外部機関評価を参考にお客様のニーズに合った様々な商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合や、過度に分配金を捻出する投資信託は取扱わない等、商品ラインナップの見直しを定期的に行うこととしています。この度のラインナップについては、以下の通りとなります。

### <投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）>

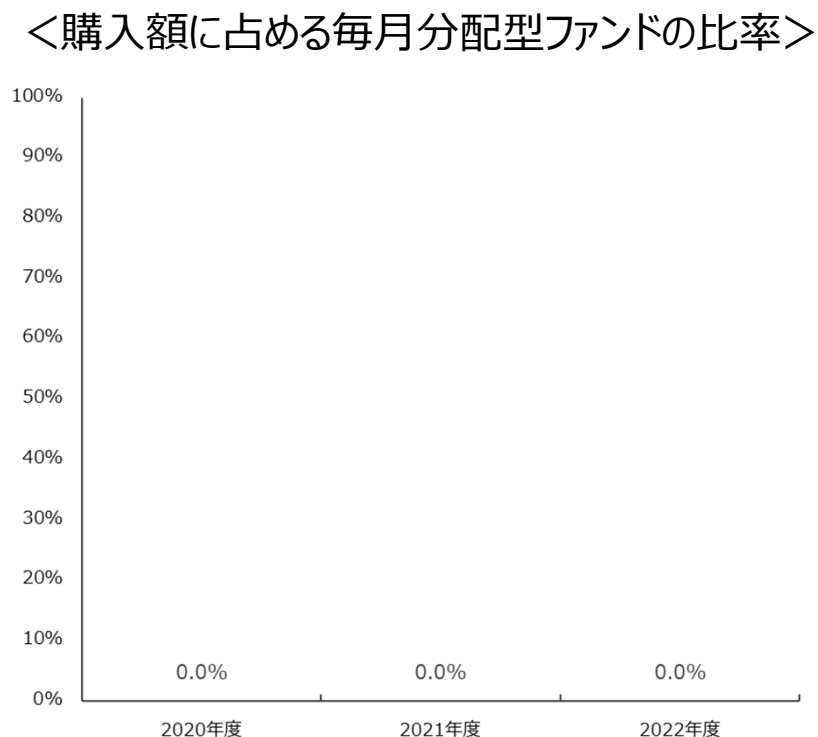
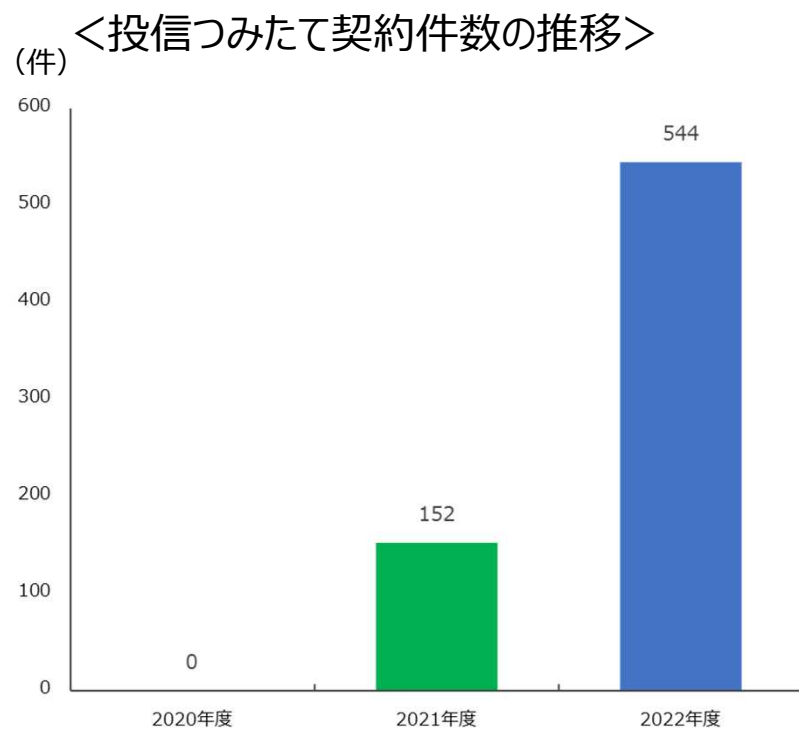
カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

# I.取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客さまの年齢や金融知識、投資経験や財産の状況を踏まえ、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行いながら、長期分散投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加しました。
- 2024年からの新NISA制度に向け、国の資産形成を応援する施策により投資に興味を持たれるお客さまの増加を背景に、「投信つみたて」を入口商品とし興味を持たれ、ご契約者の増加となっております。
- 長期分散投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加の一方で、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまは低調となっております。



# I.取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 当JAでは、お客さまの投資判断の一助となるよう「資産運用ガイダンス」を活用しながら、年齢や金融知識、運用スタイル等お客さまのニーズ把握を行います。
- 「資産運用スタイル診断シート」を活用し、お客さまの投資経験、投資期間、予定投資額、リスク許容度等を確認し、「JAバンクセレクトファンドマップ」等を用い、投資スタイルに合った各種商品の分かりやすい情報提供を実施しました。
- また、2022年4月から「重要情報シート」を導入し、当JAの商品ラインナップの考えや、個別商品毎のリスクと運用実績や費用等、より詳細にわかりやすく情報提供を実施しました。



注)掲載の画像データは2023年8月25日現在のものです。

# I.取組状況

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 当JAでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 商品選定においてはJAグループ内の基準に基づいて、特定の運用会社等に偏ることなく商品提供を実施しました。
- 手数料については、お客さまの利益を不当に害することがないように社会情勢等を踏まえ適切に設定しております。
- 特定の商品を販売することで、商品の販売を行うCA（コンサルティングアドバイザー）担当者等の業績評価につながることはなく、お客さまの利益が不当に害されることはありません。

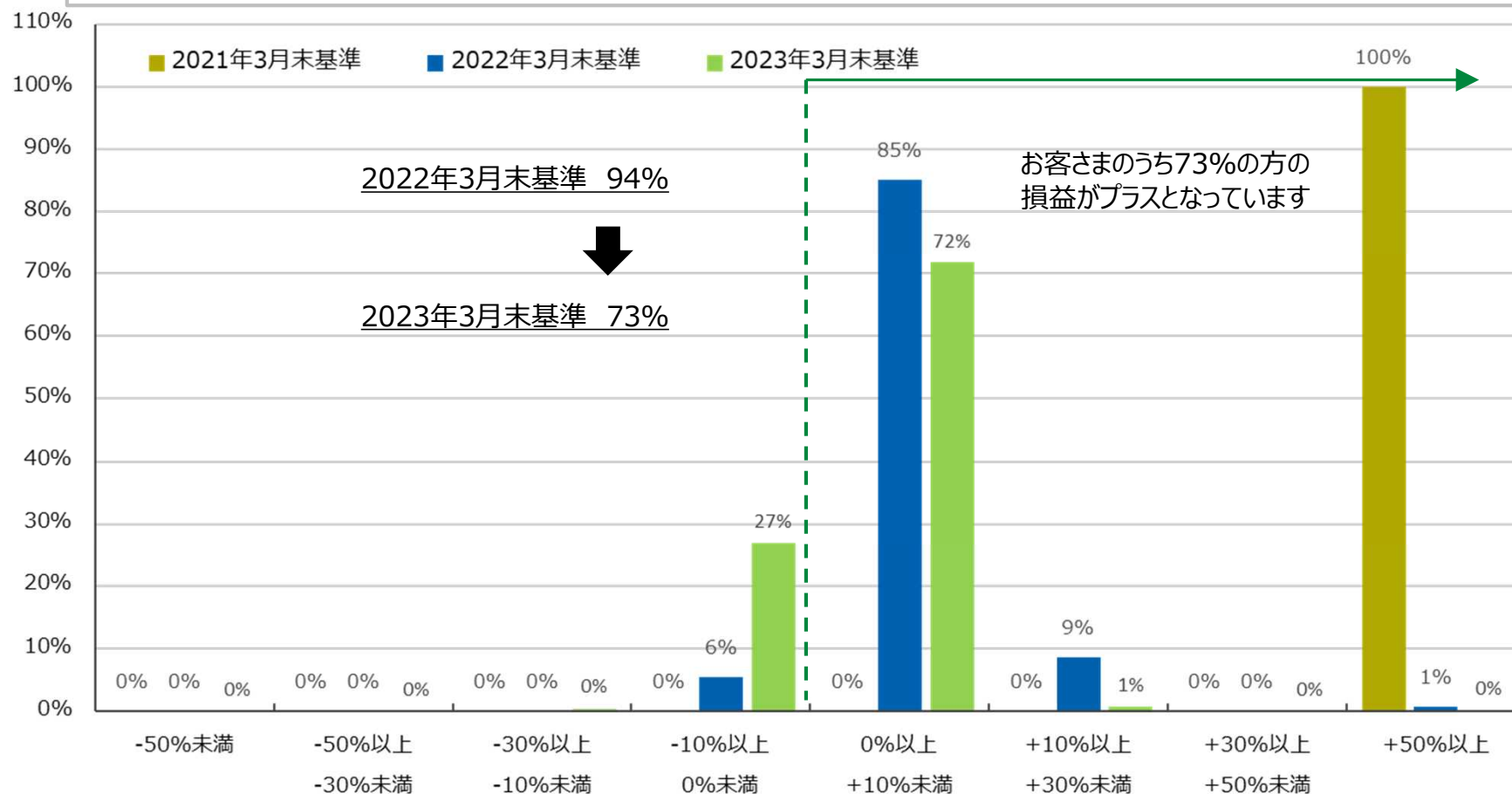
## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

- 当JAでは、お客さまの様々なニーズにお応えするため、FP（ファイナンシャルプランナー）の資格取得を推奨し、専門性を有し総合的な金融相談を行う「CA（コンサルティングアドバイザー）」の育成を行いました。
- 「CA（コンサルティングアドバイザー）」については系統グループの主催する研修プログラムへの参加を通じ、証券会社での経験を生かしたCAインストラクターとの同行訪問を行う等、お客様のニーズに専門性をもって、誠実・公正な業務を行うことができる人材育成に取り組みました。
- また、店舗の役席者や窓口の担当者においてもCAインストラクターを講師とする研修会への参加を通じ、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢づくりの浸透を図りました。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

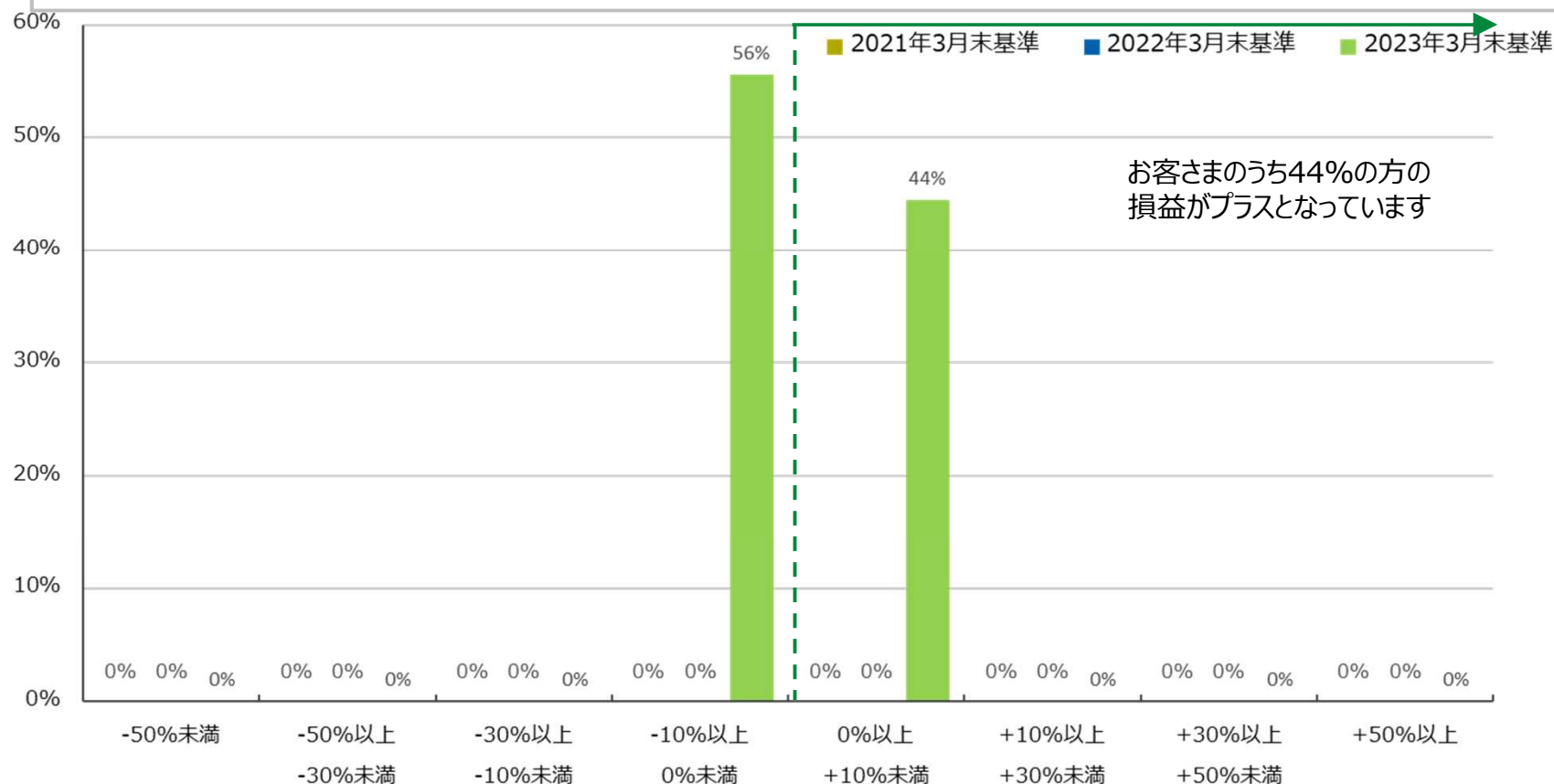
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことで契約者は大幅に増加し、結果として2023年3月末時点では全体の73%のお客さまの損益がプラスとなりました。



## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2022年4月より取扱いを開始しております『JAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）』は、長期運用ときめ細かなアフターフォローを実施しながら、お客さまと一緒に資産形成に取り組むサービスとなっております。
- 『JAバンク資産運用サービス』の「運用損益別顧客比率」は、2023年3月末時点で全体の44%のお客さまの損益がプラスとなっております。
- アフターフォローは、四半期の運用報告はもとより、相場急変時での訪問を実施し、お客さまのご意向がその時の状況に沿ったものなのか、目標達成に向けて丁寧な説明を実施しております。



※2022年度取扱い開始のため2020・2021年度実績はございません

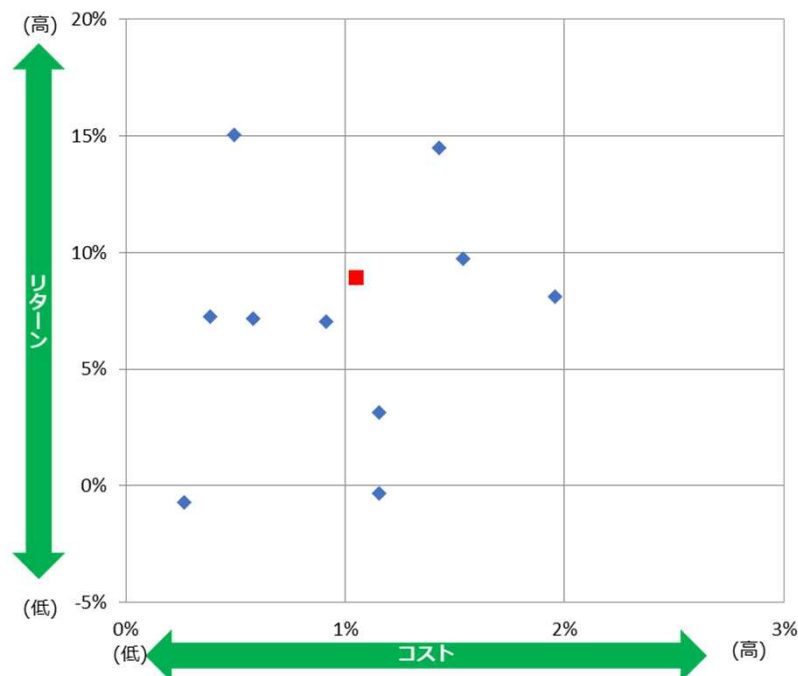


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

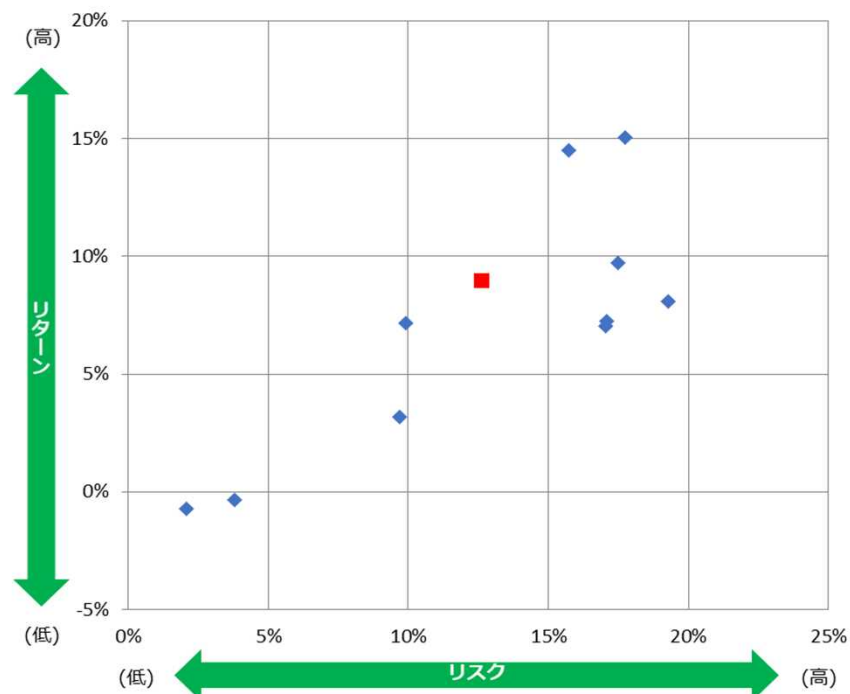
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.05%、平均リスク12.61%に対して、平均リターンは8.94%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

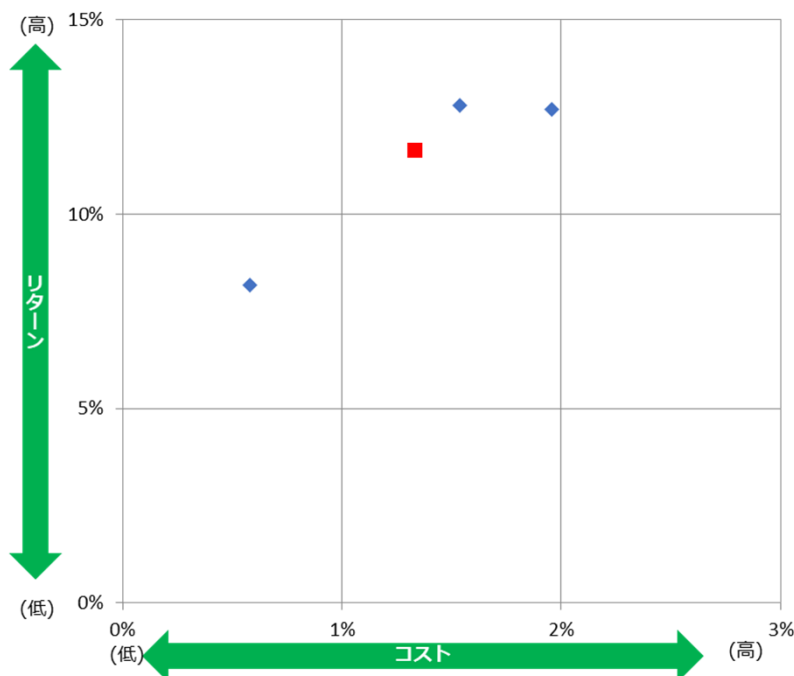


## Ⅱ.比較可能な共通KPI

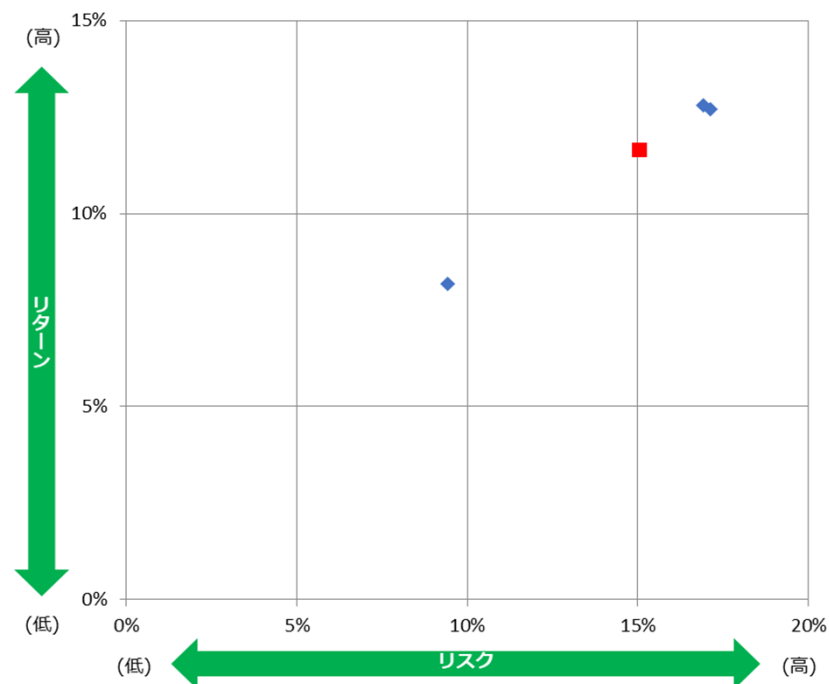
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.33%、平均リスク15.06%に対して、平均リターンは11.65%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



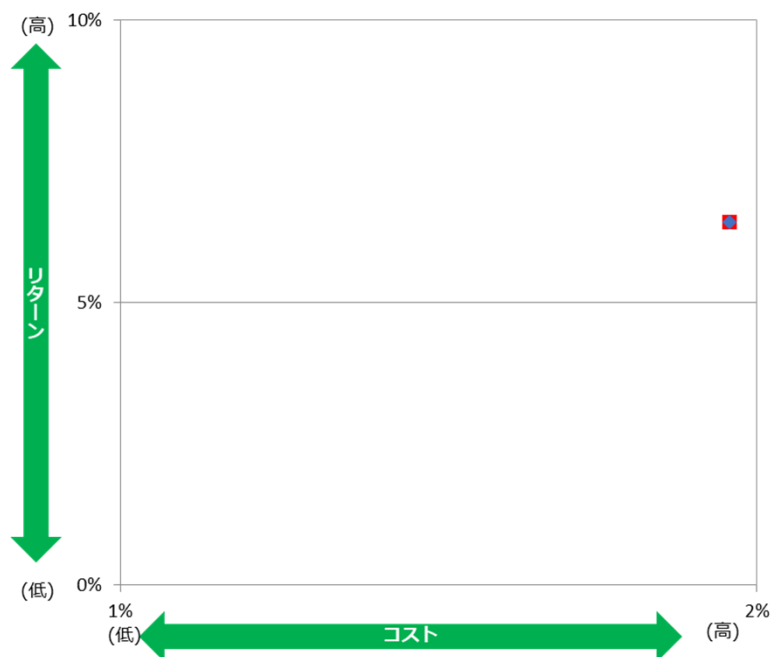
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

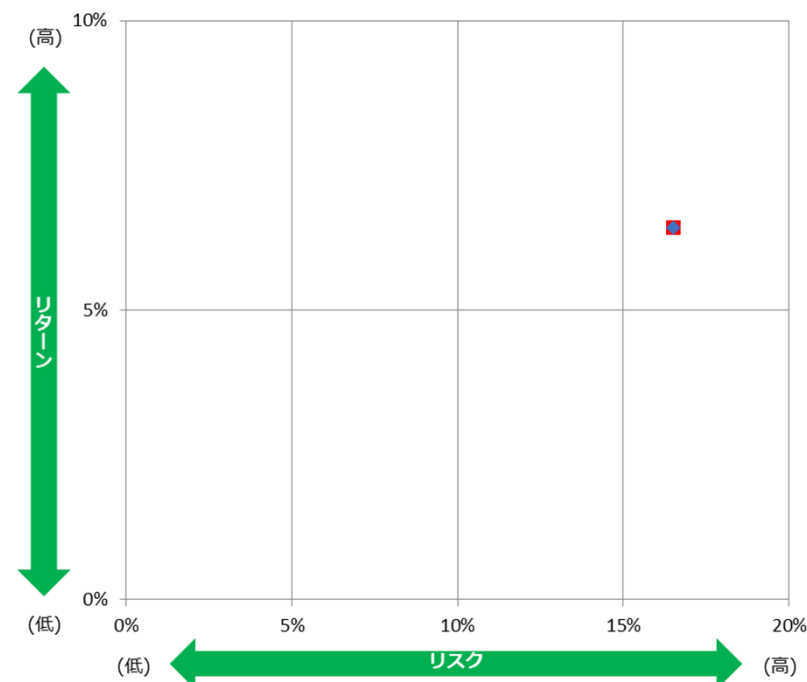
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.96%、平均リスク16.50%に対して、平均リターンは6.43%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
3	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
4	つみたてN I S A米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
7	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
9	つみたてN I S A日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
10	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.94%	12.61%	1.05%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
2	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
3	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		11.65%	15.06%	1.33%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	6.43%	16.50%	1.96%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.43%	16.50%	1.96%

※ 2021年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。